

さび反応形変性エポキシ樹脂系さび止め塗料

さびストップ

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上の制限なし

さびと反応、強靱に固定します。



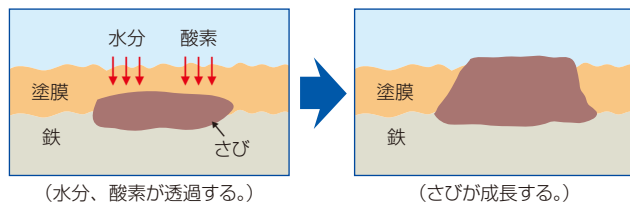
スズカファイン

さび反応形変性エポキシ樹脂系さび止め塗料

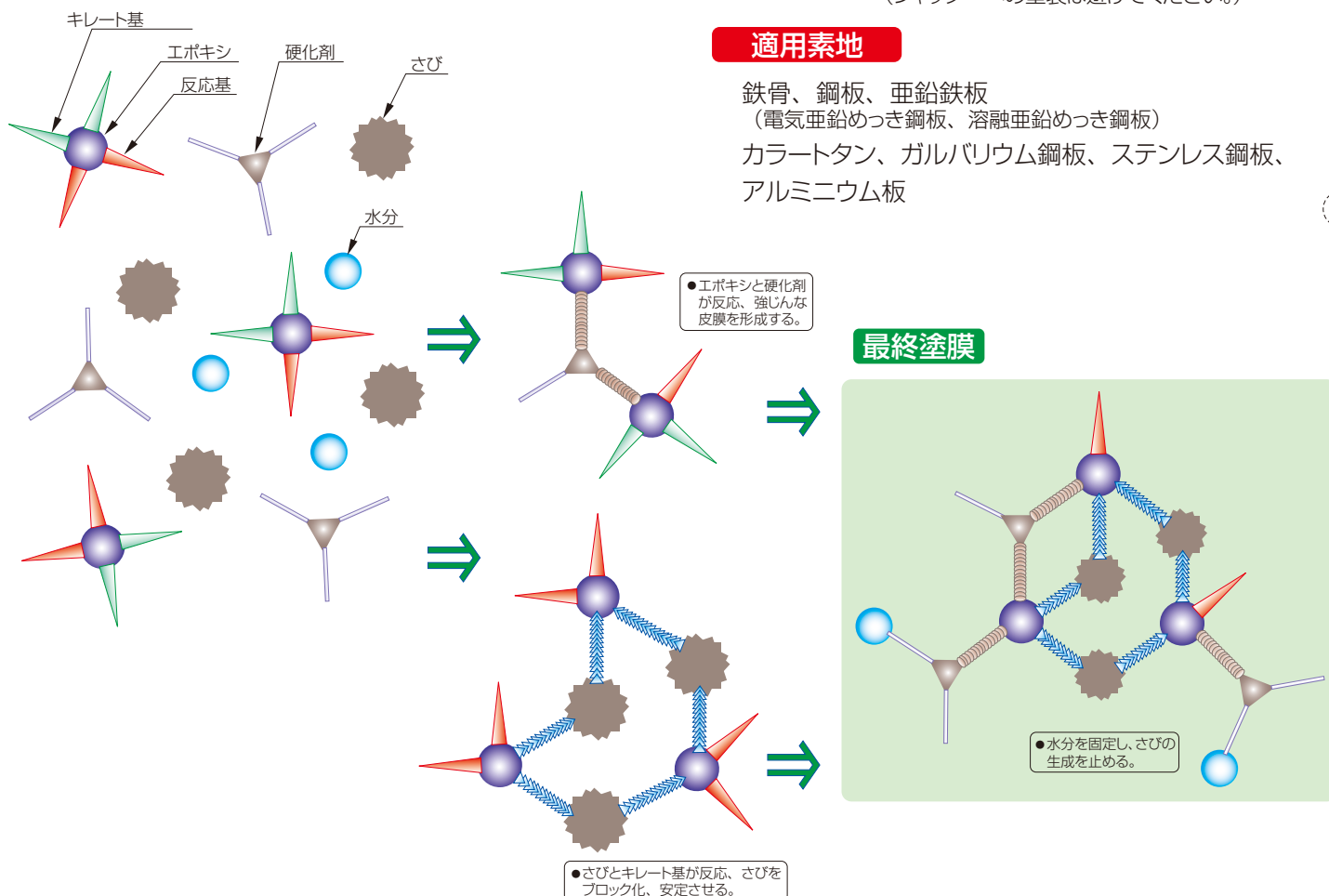
さびストップ

- 従来のさび止め塗料では、水分や酸素の遮断性が劣るため、十分なさび落とし（ケレン）を必要としました。またそのケレン程度によっては、防錆効果が異なりました。
- さびストップは、特殊変性さび転換形エポキシ樹脂が残存したさびと反応（さびを転換）し、強力に固定化するさび止め塗料です。
3～4種ケレン面への塗装が可能になり、作業効率のアップが図れます。

●従来のさび止め塗料



さびストップの防さび機構



特 長

- さびストップは、さびと反応し安定化させます。
さびに含まれている“水分”および“鉄イオン”と化学反応し、さびを安定な状態に転換します。塗膜は水分や酸素の遮断性に優れ、さびの発生を抑制します。
- さびストップは、素地調整費が低減できます。
浸透性に優れ、3～4種程度のケレンで塗装できますので、素地調整費用の低減、塗装工期の短縮が図れます。
- さびストップは、厚膜仕上げが可能です。
1回塗りで50～70μmの厚膜が確保できます。また耐アルカリ性、耐酸性が優れていますので、長期にわたり防せい力を発揮します。
- さびストップは、旧塗膜にも、よく密着します。
アルキド樹脂塗料、エポキシ樹脂塗料、塩化ゴムなどの旧塗膜にも良好な付着性を示します。
- さびストップは、無公害性防せい顔料を使用しています。
クロム・鉛などの重金属顔料を用いていませんので、安心してご使用いただけます。

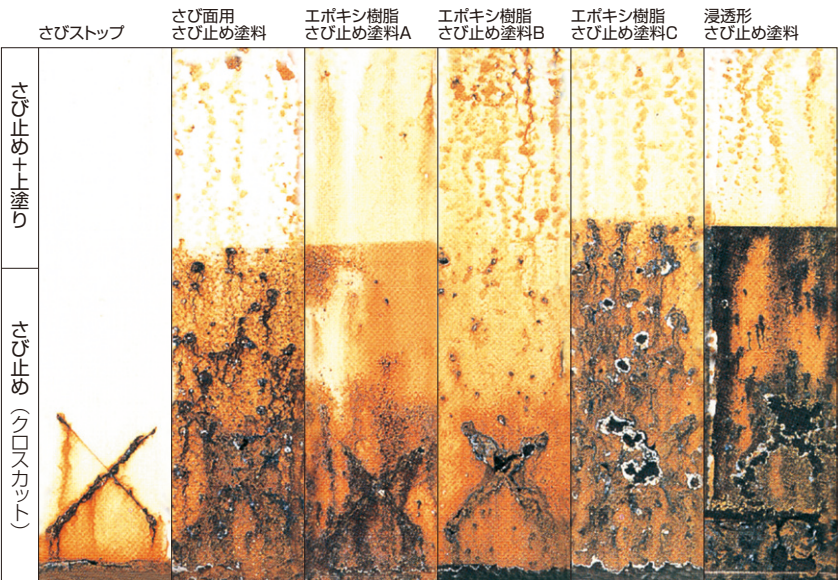
用 途

- 建築物 : 鉄鋼構造物、空調機器、屋根、ダクト
プラント類 : 各種タンク、パイプ類
鉄塔 : 送電鉄塔、看板
(シャッターへの塗装は避けてください。)

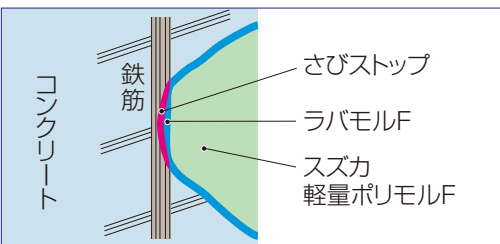
適用素地

- 鉄骨、鋼板、亜鉛鉄板
(電気亜鉛めっき鋼板、熔融亜鉛めっき鋼板)
カラータタン、ガルバリウム鋼板、ステンレス鋼板、
アルミニウム板

●試験結果（塩水噴霧）条件：テスト板：さび面、4種ケレン、塩水噴霧 3,000時間



●鉄筋コンクリート発錆部の補修



●塗料性状

項目	内容
樹脂	変性エポキシ樹脂
顔料	無公害性防錆顔料
容姿	2液性（主剤：硬化剤、13：1）
光沢	20
密度	主剤 1.49g/ml(23℃)
危険物分類	主剤 第四類第二石油類（引火点27℃） 硬化剤 第四類第三石油類（引火点188℃）
有機溶剤区分	主剤 第二種有機溶剤等 硬化剤 —

●試験成績表

項目	試験結果	規格・試験方法
容器の中での状態	合格	主剤・硬化剤ともにかき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。
乾燥時間（h）	合格	16以内
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
ポットライフ	合格	5時間で使用するものとする。
耐衝撃性	合格	衝撃による変形で、塗膜に割れ、はがれができないものとする。
上塗り適合性	合格	上塗りに支障があってはならない。
耐塩水性	合格	塩化ナトリウム溶液に浸しても異常があってはならない。

建築工事標準仕様書 塗装工事JASS18 M-109変性エポキシ樹脂プライマーに基づく試験結果

項目	試験結果	規格・試験方法
塗装作業性	合格	はけ塗りで塗装作業性に支障がないこと。
耐屈曲性	鋼板 合格 亜鉛鉄板 合格	直径4mmの折り曲げに耐えること。
付着性	鋼板 0	クロスカット法、2mm角25個カット。
耐中性塩水噴霧試験	鋼板 合格 亜鉛鉄板 合格 さび面 合格	5%食塩水噴霧、35℃、3000時間に耐えること。
耐水性	合格	水中浸漬14日間に耐えること。
耐酸性	合格	硫酸5%水溶液に7日間浸漬したとき異常がないこと。
耐アルカリ性	合格	飽和酸化カルシウム水溶液に7日間浸漬したとき異常がないこと。
耐湿潤冷熱繰返し性	合格	湿潤冷熱繰返しに耐えること。

●標準塗装仕様（素地：鉄面）

工程	塗料	調合（重量比）	標準塗付量（kg/m ² ）	塗回数	塗装間隔（23℃）	塗装方法
素地調整	●浮きさびは、ディスクサンダー、ワイヤーブラシ、スクレーパーなどを用いて除去する（3種ケレン）。 ●海浜地区、工業地帯、腐食が著しい地域では、さびを入念に除去し、素地をあらわす（2種ケレン）。					
下塗り（さび止め）	さびストップ スズカシンナー #1000	100 0～10	0.18～0.24	1～2	（工程内）3時間以上 （工程間）塗装間隔を参照	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	適用上塗り塗料（商品名） ●アクリルエポレー ●アクリルエポレー ●エスコートホープDX ●エスコートECO ●メタルトップ ●エポレー ●ラフンウレタンエナメル ●ワイドウレタン ●1液ワイドウレタン ●ワイドルーフ ●ワイドエポレーシリーズ ●ワイドシリコン ●1液ワイドシリコン ●ラフンセラミック ●ラフンワイドフッソ					

注）さび面では、ポルト箇所、エッジ、ケレン後の段差など、十分被覆するまで、さびストップを増し塗りしてください。（2回塗り以上）
さび面では、さびストップを無希釈で塗装し、膜厚を確保してください。
亜鉛めっき面に塗装する場合は、0.14～0.24（乾燥膜厚40～70μm）を塗装してください。

●塗装基準

塗装方法	はけ塗り	ローラー塗り	エアレス塗り
希釈剤	スズカシンナー #1000		
希釈率（%）	0～5	0～5	5～10
塗装回数（回）	1～2		
標準塗付け量（kg/m ² ）	0.18～0.24	0.18～0.24	0.18～0.24
乾燥膜厚（μm）	50～70	50～70	50～70

●乾燥時間

気温	5℃	23℃	30℃
指触乾燥	1時間	30分	15分
半硬化乾燥	5時間	2時間	1時間

●可使時間

気温	5℃	23℃	30℃
可使時間	12時間	8時間	6時間



●塗装間隔

●さびストップを塗装後、上塗りする場合

下塗り (さび止め)	塗装間隔 (23℃)	上塗り
さびストップ +	3時間以上 7日以内	+ ●ワイドエポキシシリーズ ●エスコートホープDX ●エスコートECO ●アクリルエポキシ ●ワイドウレタン ●ワイドシリコン ●1液ワイドウレタン ●ワイドルーフ ●1液ワイドシリコン ●ラフトンワイドフッソ
	8時間以上	+ ●アクリルバレン ●メタルトップ ●エポキシ ●ラフトンウレタンエナメル ●ラフトンセラミック

注1) 塗装間隔時間は、厳守してください。尚、低温時は、16時間以上取ってください。

注2) 水性塗料（ユニシリーズ、クールトップ、ラバモルフ）を塗装する場合、16時間以上（23℃）取ってください。

●旧塗膜面にさびストップを塗装する場合

旧塗膜	放置日数	下塗り (さび止め)
エポキシ樹脂塗料	+ ※7日以上	+ さびストップ
ポリウレタン樹脂塗料	+ 5日以上	
合成樹脂調合ペイント・塩化ゴム樹脂塗料	+ 10日以上	
アクリルアルキド樹脂塗料	+ 1ヵ月以上	

注1) 塗装条件によりニジミ、チヂミ現象が条じる場合がありますので、事前にテスト塗り確認してください。
※P140～150程度のサンドペーパーで研摩後塗装してください。

塗装上の注意事項

- さびストップの塗付量が少ないと、防せい性および付着性が低下しますので、標準塗付量（0.14～0.24kg/㎡）を必ず塗装してください。
- 素地、さび面を十分に乾燥させてからさびストップを塗装してください。
- 高温（50℃以上）湿度85%以上の場合、降雨・降雪・結露の恐れがある場合は塗装を避けてください。
- 主剤、硬化剤は正確に計量混合し、均一にかくはんしてください。また、可使時間内にご使用ください。
- 風通しの悪い箇所では、換気を十分に行ってください。
- 希釈シンナーにラッカーシンナー、エポキシシンナーは使用しないでください。
- 塗装ミストや臭いの飛散には、留意し十分な養生を行ってください。
- 居住者、隣家、車両等へ塗料ミスト・臭い・蒸気等が飛散しないような塗装方法を選び、十分な養生をしてください。
- 塗付量は標準的な数値です。素地の形状や状態・塗装方法・環境等によって増減することがあります。
- 塗装器具の洗浄には、スズカシンナー#1000またはラッカーシンナーをご使用ください。

素地調整上の注意事項

- どぶ漬け溶融亜鉛めっき鋼材は素材によって付着にばらつきが生じます。素材表面をディスクサンダー（研磨紙P120～240）にて入念に研磨し調整してください。

- 色 赤さび色・グレー・白

- 容量 14kgセット（主剤 13kg、硬化剤 1kg）
4kgセット（主剤 3.7kg、硬化剤 0.3kg）

取扱い上の注意事項

- 製品を正しく安全にご使用いただくために下記事項を守ってください。
- 引火性の液体です。火気のあるところでは使用しないでください。
 - 吸入すると有機溶剤中毒を起こすことがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないように必ず保護具を着用してください。
 - 取扱い作業場所には、局所換気装置を設けてください。
 - 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
・有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
 - スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車輛などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。また、屋外で使用する場合は、家屋の換気口、空気取入れ口などから溶剤蒸気が室内に入らないように目張りなどをしてください。
 - 臭いは食品・飲食器・衣類などにうつることがありますので、作業場所から遠ざける、または養生するなど、十分に注意してください。
 - 容器から出し入れするときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水のいった容器に保管してください。
 - 皮膚に付着した場合には直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
 - 蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
 - 目に入った場合には直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
 - 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
 - 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない場所を定めて保管してください。
特に下記場所の保管は避けてください。
・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用い初期消火をしてください。
 - 捨てるときは産業廃棄物として処分してください。
 - 詳細な内容が必要なときは安全データシート（SDS）をご参照ください。
 - カタログに記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市柿町小倉1058-4
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎059-397-2187 FAX059-397-6191
☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店

54